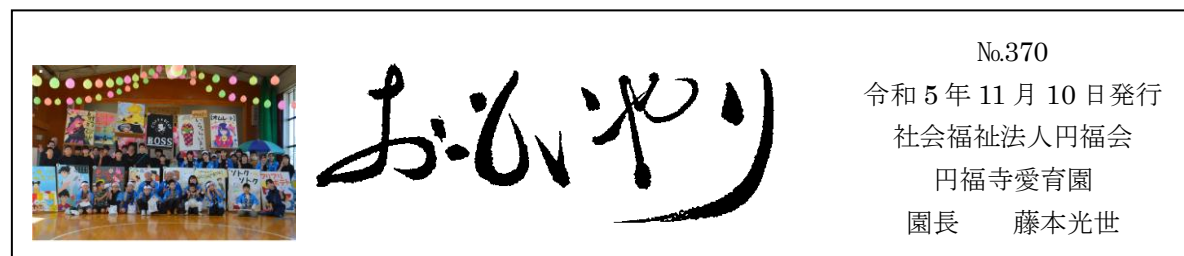


愛育園祭、子ども達と思いっきり楽しみました。



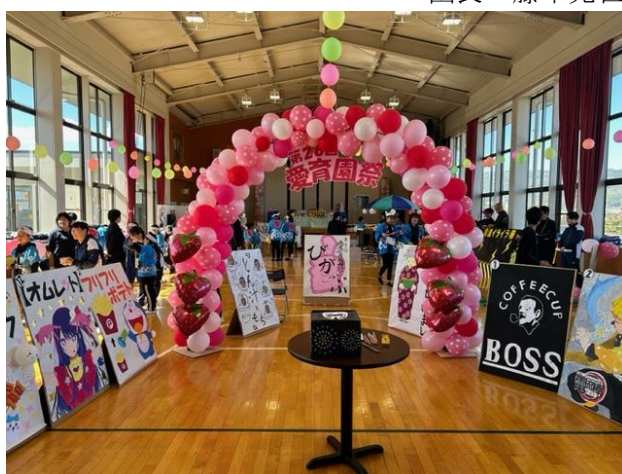
献身

園長 藤本光世

今年の愛育園祭も大成功に終わりました。子どもたちは十分に楽しんだと思います。それらは、職員と子どもたちの文や写真から伝わるとおもいます。

私は、その裏に職員の「献身」があることを称えたいと思います。本当に、それは有難く、素晴らしく、頭が下がることでした。

特に驚いたのが電流イライラ棒で、子どもたちが手伝って作った黒い背景に、裸線が迷路のように張り巡らされて、決められた時間内にイライラ棒が通過すると、高得点が得られると、手作りで作られたものでした。私もやらせてもらおうと、難しい通路で裸線にイライラ棒が触れてしまい、手持ちの部分がぶるぶる震えて、感電したように感じて、アッチッチ、と思わず叫んでしまうのでした。



余りの出来栄に驚いて、作成者の山田先生に聞いてみると、運動会のころから案を練って、

富沢先生に相談してやろうということになって、1か月近くかけて作ったとのことでした。子どもたちが良く手伝ってくれて、背景の稲妻や、黒ペンキは子どもたちが塗ってくれ、作ってくれたとのこと。山田先生は勤務時間が終わっても家に帰らないで夜遅くまで作っていたそうで、子どもたちと共に、一生懸命に作ってくださったことが伝わってきました。あまりの良い出来栄で、これは篠ノ井の軽トラ市や縁日に持って行けば、大人気になるだろうなあと話しました。

この他にも、新しい試みがたくさんあり、それが昨年までのストラックアウトや、もぐらたたき(手作り)などと重ね合って、素晴らしい愛育園祭になったのです。おいでになってくださり、子どもたちと一緒にそれぞれの出し物を楽しんでくださった、通明小学校と篠ノ井東中学校の校長先生、ご来賓の皆さま、誠に有り難うございました。

体育館の入り口から撮った写真もご覧になってください。

入口に飾った、子どもたちが一生懸命作成した、それぞれの出しものの看板は素晴らしく、今年登場した風船を使った入場門も素晴らしく、その向こうに見える愛育園祭の看板や駄菓子屋さん(商品の販売所です)も素晴らしかったのです。子どもたちが嬉しく楽しんでいる様子が目に浮かびます。

もちろん、開始前のお神輿やお寺でのおまいり(法母会の皆さまと一緒にのおまいりに、大きな声の般若心経が響きました)は、愛育園祭が始まって以来続いて愛育園祭を盛り上げました。おいでになった西横田の皆さまやご来賓の皆さまに、今年も扇子演舞や書道パフォーマンスも披露しました。書道パフォーマンスの作品は、体育館に飾り、75周年の記念式典においでになった皆さまに披露しますので、ご覧になってくださいね。そうそう、扇子演舞も披露しますよ。

開祭式の高校三年生のAさんの挨拶は、とっても立派でした。この子がこんな素晴らしいあいさつができるとは、感動しました。きっと、おいでになった皆さまもそう感じたと思います。この子は、本当にまじめで、良い子で、素晴らしい子です。将来の夢が叶いますように、皆さまの応援をお願いいたします。

11日の創立75周年記念式典のお母さん顕彰のテーマは「献身」です。子どもたちのために、只、只管に献身する。それをしたら、子どもが自分を良く見てくれて、関係が良くなるだろうとか、褒められるだろうとか、そんなことは関係なく、只、只管に子どもたちが楽しむ姿や嬉しい姿を想像して、その心から子どもたちに尽くす、見返りを求めない、そんな献身がお母さんの心だったように思います。その伝統が脈々と受け継がれて、愛育園祭になりました。職員には本当にご苦勞を掛けています。その苦勞を苦勞と厭わず、只管に子どもに尽くしてくれる職員を称えたいと思います。ありがとうございました。

ところで、看板コンテストで最多得票を得て優勝したのは、どれだったのかなあ。



愛育園祭を通して

主任指導員 T.M

10月22日、「第26回 愛育園祭」が行われました。愛育園祭は、学校の先生方、地域の方、愛育園を支えて下さる役員の皆様に日頃の感謝を伝える事を大切にしている行事です。

感謝の伝える為に、おもてなしする事やアトラクションを楽しんでもらう事も大事ですが、数年前、中高生の子供達とミーティングして「自分の成長を表現する」これこそが一番喜んでもらえて、一番感謝が伝わるのではないかと、以降「成長」をテーマに愛育園祭を作り上げる事を念頭に置くようになりました。

成長を表現する事は難しい事です。日々の生活を前向きに、地道な努力を積み重ねていかないと人は成長していきません。そして仮に成長できても、それを自分で実感できないと自信が持てないので外に向けて表現する事に躊躇してしまいます。

子供達は毎日、本当に本当に一生懸命頑張っています。だから間違いなく成長しています。以前に比べて人前で堂々とできる子も増えてきました。けれどまだ表現が苦手な子もいます。恥ずかしがり屋も多いです。そこで職員の出番です。毎年、アイデアと工夫を凝らして、子供達がついつい夢中になって準備をしてしまうようなアトラクションや企画や装飾を提案して、子供達が日頃身につけた力を存分に発揮できるようにしてくれます。

例えば、「看板コンテスト」といって、各アトラクションや飲食コーナーを担当する児童職員が看板を作成して競い合う企画があります。アイデアやキャラクターは自由なのですが、非常に大きな紙に描くので完成させるのはとても大変です。やる気や根気や丁寧さや協力する気持ちがないとできません。それらは途中の過程を見ずとも実際完成した看板を見ただけでも伝わってきます。どれも子供達の成長が詰まった素晴らしい完成度でした。

他にも、毎年アトラクションを追加変更してマンネリしない様に工夫していますが、今年は何と言っても「電流イライラ棒」です。子供達はそもそも「電流イライラ棒」を知りません。わけもわからない中で指示されるままに作っていくうちに段々とその全貌がわかってきた時に「お

お、そういう事かあ」となって夢中になって制作をします。私は「電流イライラ棒」のインパクトのある見た目も印象的でしたが、イライラ棒担当でもない子供達がこぞって制作を手伝いに行く様子がとても印象的でした。

愛育園祭が終わった後、子供達はとても満足した顔つきになっていました。小学生の中には、運営側に回っている中高生を見て早く自分も中高生になりたい！という子もいました。それくらいカッコいい姿なのだと思います。

子供達が自分の成長を表現しやすいようにサポートをしてあげる事、これも私たち職員のやるべき事だと思います。そして、そういった思いや関わりの中でより強い信頼関係が築けている様にも思います。今年の愛育園祭を通して、改めてそんなことを感じました。

今回来て下さった皆様が、子供達の様子を見て、成長を感じ喜んで頂けたら嬉しく思います。そして、既に来年に向けて、子供達に成長の日々はスタートしています。来年また更に成長した子供達の姿を見てもらえるように、子供達と一緒に頑張っていきたいと思います。

『愛育園祭』

まごころ保育士 T・S

先日、第26回愛育園祭が行われました。まず印象に残っているのは開催式でのAさんの開催宣言です。Aさんは今年高校3年生で卒園生です。現在就職活動で現実と向き合いながらも頑張っている姿を見ているので、堂々と全員の前で話す姿にとっても感動しました。同じホームの子供の中にも「感動した」と感想を言っている子がいて、気持ちが伝わる素晴らしい開催宣言でした。また、今回は、まごころホームの中高生たちで新たな試みとして、写真スポットを作りたいという意見から観光地などでよく置かれている「顔はめパネル」を作りました。子供も自らやりたいと言ったことだったので、準備の段階でやる気がかなり感じられ、夕方や夜のいつもだったらテレビをみてゆっくりしている時間も下書きなど集まってやっていました。実際完成



したときはきれいに色塗りもされて良いものができたと思います。また、露店の準備も各グループに分かれて行っています。恒例になってきた看板作りも楽しそうにやっていました。今年は食べ物の露店はアトラクションと同じく体育館で行うことになっており、準備や提供のタイミングなど難しかったり、使う食材の量の調整も思ったようにいかなかった

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

りと自分自身の反省点もありますが、子どもたちはたくさん食べることができて満足そうでした。そしてまごころホームと言えば書道パフォーマンスです。子どもたちにも自分たちの作品に対しての意見を求めながら何度も練習を重ねました。毎年途中でうまくいかない時があり、間に合うのか心配になるのですが、全員が集中していい作品を作りたいと思ったところから急激にまとまり始めるので、やっぱり気持ちが大切なんだと改めて感じました。当日もみんなで心を合わせて成功させることができ、良かったです。子どもたちの楽しそうな表情をたくさん見れた愛育園祭になりました。

愛育園祭

あおぞらホーム Y・S

10月22日、みんなが楽しみにしている愛育園祭がありました。あおぞらホームのみんなは毎年アトラクション作りをしてみんなを楽しませています。今年は昨年に比べて新たなアトラクションが三つ増え、そのうちの一つは自分が担当しました。今年の愛育園祭にはぜひやってみようと考えていたものがあり、もしOKが出たらああやろう、こうやろう、と9月の



運動会前から少しずつ考えを巡らせていました。運動会が終わり数日後ホーム長にやってみようものがあるのですが、と打診したところホーム長も過去にやってみようと思っていた、とのことでOKを頂きました。毎年、愛育園祭の準備はギリギリになって慌てる事が多い為、今年は早めに準備を開始しました。まあ、ある程度の土台はコツコツとやればいかな、と思っていたのですが子どもたちはまだ自分の係分担も決まっていないうちに「今日は準備しないんですか」などとても積極的に声を掛けてくれてどんどんと製作を手伝ってくれました。制作しているうちにクオリティの高さにこだわりが出てきてしまいましたが子どもたちは皆とても楽しそうに準備に取り掛かってくれて段々とみんなの気持ちが愛育園祭に向かっていっているのがよくわかりました、その後の看板作りなどもどの班もほぼ子どもたちが主となって作り上げていく姿を見て全体が一体になっていい行事になるなと思いました。本番当日は大成功に終わりましたが、正直な所本番よりもみんなと一体になって準備していた前日までの期間の方がもっと楽しかったです。

(令和5年11月10日発行 月刊「円福」518号付録)

愛育園祭

あおぞらホーム K・A

10月22日に愛育園祭がありました。今回、私は高校1年生のUさんと、高校3年生のAさんと、フロート係をやりました。また、当日は中学1年生のSくんと「ラッキーボール投げ」の係もやらせていただきました。昨年度も愛育園祭に参加させていただいたのですが、今回はアトラクションと露店の両方を任せさせていただき、貴重な経験をさせていただきました。



また、あおぞら児童・職員による「気遣り」ですが、小学生も全員参加し、とても迫力のあるパフォーマンスを見せてくれました。そして、まごころ中高生・職員による書道パフォーマンスもとても迫力があり、かっこよかったです。今回、私は書道パフォーマンスに参加してはいませんが、私がまごころホームに入っている際、毎晩遅くまで練習を行う、中高生を見てきました。中高生が練習から戻ってくるのを待っている間、今回はどんなパフォーマンスが見られるのだろうと考え、とても楽しみにしていました。当日になり、書道パフォーマンスが始まると、堂々とした姿に見入ってしまいました。そして完成した作品を見た時、とても感動しました。本当に素晴らしかったです。

今回、私にとっては2回目の愛育園祭でしたが、昨年度経験させていただいたこと、今回初めて経験したこと、たくさんありましたが、思い出に残る愛育園祭となったと思います。

第26回愛育園祭

あおぞらホーム F・K

円福寺愛育園では、10月22日に第26回愛育園祭を行いました。

今年の愛育園祭では、私は「もぐらたたき」と「ラッキーボール投げ」というアトラクションを担当させていただきました。もぐらたたきでは中学2年生のKくんと、ラッキーボール投げでは中学



1年生のSくんとRくんと協力してアトラクションの準備・運営を行いました。子どもたちが、アトラクションづくりや看板製作を積極的に手伝ってくれたこともあり、素敵なアトラクションと看板を作ることができました。

愛育園祭当日、中高生の扇子演舞やまごころホー

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

ムの書道パフォーマンスでは、愛育園祭に来られた方々の前で立派な発表を行うことができ、アトラクションではあおぞらホームの中高生と職員が協力して運営を行い、小学生やまごころの子どもたち、お越しいただいた方々に非常に楽しんで頂くことができました。

このように子どもたちと職員が協力して、愛育園祭という1つの行事を作り上げることで今年の愛育園祭も非常に素晴らしいものになったと思います。

愛育園祭 児童感想 あおぞら

愛育園祭

10月22日に愛育園祭をやりました。前日にプレオープンした時は、アトラクションに自信がなかったけど、やってみたら自信がついたので良かったです。当日は、わくわくしながらやりました。一番楽しかったのはおはじきシュートです。水槽の中にワイングラスがあり、そこにおはじきを入れるゲームでした。楽しかったです。2番目に楽しかったのは射的でした。前日は、3等しか当たらなかったけど、本番になったら3回目で特賞に当たったのでよかったです。射的は前回の射的より難しかったです。3番目に楽しかったのはもぐらたたきです。前日にやった時、最高得点が90点だったのでいけるかなと思ったけど、やったら70点でした。少し残念でした。来年の愛育園祭も楽しみです。



(小6・T君)

愛育園祭

10月22日、愛育園祭がありました。さかのぼること2週間前、先生から自分が担当するところを言われ、射的になりました。今年も看板コンテストがあり、自分の所は呪術廻戦にしました。なぜこれにしたかという、悪い呪いを倒して欲しいということでこれにしました。名前は呪術をとって、射的廻戦にしました。肝心なのは、特賞、1等、2等を呪霊で作りました。自分が学校に行っている間、T先生とK君がすばらしいのを作ってくれました。前日は、プレオープンで乙骨憂太くんが特賞になり、その前に中間たちがいてそれを倒してから特賞が狙えると、特賞が簡単に倒されてしまいました。

当日は、おみこしをやりました。2年ぶりにやって、みこしがとても重かったです。幼稚園の駐車場で木遣りをやったり、扇子演舞をやりました。それが終わったら露店のじゅんぴをやってから、オープンしました。射的は2回特賞をとられて、4回ぐらい1等をとられました。店が少し暇になったときに、遊びに行きました。円福寺券を420円ゲットしました。食事はまごころさんが作った色々な料理を食べました。どの食事とてもおいしかったです。来年もとても楽しみ

(令和5年11月10日発行 月刊「円福」518号付録)

です。

(中3・R君)

愛育園祭

10月22日に愛育園祭をやりました。3週間前から、愛育園祭の準備をしました。今年はパターDEゴルフを任されて、準備を進めてきました。ゴールに入るまでの距離を長くしたり、看板コンテストのための看板作成、ルール表の作成をしました。ゴールからの長さは上手くいかなかったけど、なんとかいいようにできて、みんなが打ちやすいように考え実行に移すことができ本当に良かったです。次に看板コンテストの作成のことです。自分は毎年、ポケモンを描いていますが、新たなことに挑戦してみようと思い、大人から子どもまで知っているワンピースにすることにしました。その中で、人の配置、クラブをどのキャラに持たせるかなど、色んな案を考えた中で、海賊VS海軍でゴルフをしている絵にしようと思い作成しました。ワンピースのキャラクターの絵は、とても難しく、上手くいきませんでした。全力で頑張って描きました。次に扇子の発表の事です。扇子では、運動会から23日間扇子をやらないでいたら、振り付けを忘れてしまいました。そのため練習を頑張りました。露店ではラッキーボール投げをしました。ラッキーボール投げは白赤黄金銀の5種類の円柱があり、その中にボールを投げて入れるゲームです。少し坂になっていて、強くやると、1個ボールを無駄にしてしまうので優しく投げないといけません。でも優しく投げすぎると坂なので、戻ってきてしまってポイントが取れません。でも、自分ではできるだけ真ん中に当たるようにして、良い点が取れました。とても楽しい1日でした。ありがとうございます。

(高1・S君)

愛育園祭



10月22日愛育園祭がありました。私は電流ライラ棒を係でしたが、主に看板作りに力を入れていました。電流ということで、鬼滅の刃の善逸を描き、ロゴも変えて作りました。善逸は全体的に黄色が多いですが、色のグラデーションが多く、再現するのが難しかったです。完成した時、自分の満足のいく作品ができてとても良かったです。

当日は、たくさんの方々が来て、電流ライラ棒に挑戦して下さり、楽しんでいる姿を見ることができ、やって良かったと思つたとともに、皆が楽しんでくれて良かったと思つきました。また、最後には私も色々なアトラクションをまわりましたが、皆を楽しませるために沢山の工夫が

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

してあってとても良い愛育園祭を作り上げているなと実感しました。後半の部では、おいしいものが沢山ありました。また去年とは違い、熱々のまま食べることができてよりおいしく食べることができました。

最後に看板の投票がありました。たくさんのいい作品があり、優勝できるか心配でしたが、2位と10票以上の差をつけ優勝できたので良かったです。今年最後の行事だから、いい結果出すことができて良かったです。

(高3・H君)

第二十六回愛育園祭 児童感想 まごころ

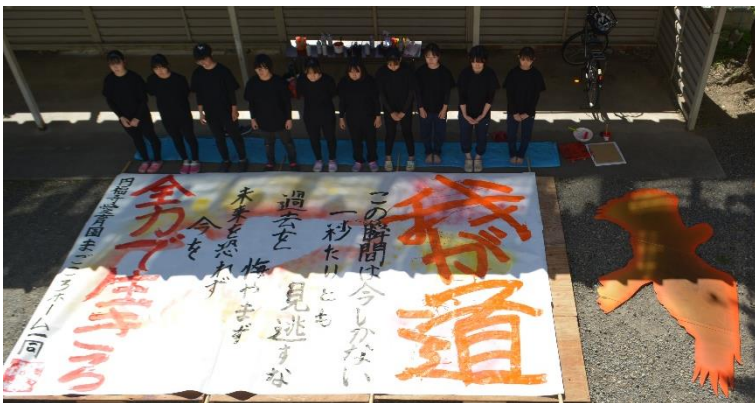
10月22日に第26回愛育園祭がありました。毎年行われている「書道パフォーマンス」ですが、「道」を目標に頑張ってきました。練習も短い期間で行い、良い作品を作りました。大きい紙で書くと文字と文字の間が空いたり、バランスがうまく取れていなかったりしましたが、練習するうちに字もバランス良くとることができ、間の隙間もいい感じで大きな文字もしっかり入っていたので良かったです。また、一番いい作品ができた時は、すごく達成感を感じました。本番とても緊張したけれど笑顔を忘れずにパフォーマンスできたので良かったです。露店では広島焼を担当させてもらって前日には自分で試しに作ってみました。意外と上手に作れました。当日は忙しくて大変だったけどおいしい広島焼を作ることができたと思っています。露店の看板コンテストでは、2位をとることができました。時間をかけて頑張ったものだったので本当に嬉しかったです。今年もとってもいい愛育園祭でした。次の行事に向けてこれからも頑張ります。



(高1 S・R)

10月22日に、第26回愛育園祭が開催されました。私が今回の愛育園祭で頑張ったことは二つあります。

一つ目は、書道パフォーマンスです。私は今年、大文字を任せられました。始めは、全然息が合わず曲



にも間に合わず、当日までに間に合うか不安でした。毎日練習することで、一人ひとりの字も初

(令和5年11月10日発行 月刊「円福」518号付録)

めて書いた日より上手に描くことができるようになりました。本番一週間前には、あおぞらのT先生が観に来てくれて、アドバイスをしてくれました。そのアドバイスのおかげで、前の作品より良いものを作り上げることができました。まごころ全員でいい作品を完成させることができてうれしかったです。

二つ目は、露店の看板です。今年も去年に引き続き円福堂の看板と、投票用の看板を作りました。約二週間前から下書きを始めました。当日に間に合うか心配していた部分もあったけど、ホームのみんなが色塗りなどを手伝ってくれたおかげで、何とか間に合わせることができました。結果は6位だったけど、意外と上の方の順位だったのでうれしかったです。とても思い出に残る愛育園祭になりました。

75周年記念式典に向け、ピアノ練習を頑張りたいです。

(高2 Y・S)

あおぞらホームだより

あおぞらホーム A・Y

秋も深まり、肌寒い季節となってきましたが、寒さに負けることなくあおぞらホームの子どもたちは日々元気いっぱい過ごしています。

10月は愛育園の中でも大きな行事の一つである愛育園祭が行われました。アトラクションの露店や看板作りなど子どもたちと職員が一丸となって作り上げ、まごころホームによる書道パフォーマンスや中高生による扇子演舞も披露され、大成功に終わりました。そしていよいよ今月は愛育園創立75周年記念式典が執り行われます。愛育園に携わる多くの方々がお越しになられるということで日々の感謝の思いをお伝えできる場となれば良いなと思います。

まごころホームだより

まごころホーム M・H

日中の寒暖差が激しくなり、冬を間近に感じる頃となりました。子どもたちは朝起きてくると、「寒い！」と言って驚いていました。そんな中でも登校して学校に行く姿は、すごいなと思います。

今月は愛育園祭が開催され、その準備を子どもたちと一緒にいき、忙しいながらも充実した毎日過ごしました。看板制作では、各露店、趣向を凝らした看板を作りました。書道パフォーマンスは、来てくれた方に自分たちの成長した姿を見てもらうこと、そのために恥ずかしくない発表をしようとして夜遅くまで練習をすることもありましたが、子どもたち、職員ともにいい経験になったと思います。中学生は、テストを控えた中でもありましたが、どちらも手を抜かず、努力していました。頑張ったこと一つ一つが子どもたちの自信につながると良いなと思います。

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

季節柄、風邪やインフルエンザが流行っています。体調には十分気を配りながら、過ごしていきたいと思います。

調理室だより

調理員 K・Y

10月22日に愛育園祭が行なわれました。子供達、ホームの先生方でそれぞれの役割分担を決め、一生懸命に取り掛かり、当日は大勢のお客様を招きました。

演舞、書道パフォーマンス、アトラクションと皆で力を合わせてたくさんの感動を頂いた素晴らしい1日となりました。

10月の誕生日メニュー

- ・Aさん誕生日メニュー

手巻き寿司、茶碗蒸し、海藻サラダ、フルーツパフェ



寒暖差で体調が崩しやすくなって来るので、元気に過ごしていけるようにしっかりと栄養面に気を使って、食事作りに力を入れていきたいと思っています。



(令和5年11月10日発行 月刊「円福」518号付録)

